

対象校No.  
注4

学校コード F128310108810  
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置  
注1

認可

注2  
宝塚医療大学 観光学部 観光学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人平成医療学園  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学長企画室
職名・氏名	学長企画室長・中塚 克浩
電話番号	072-736-8600
(夜間)	072-736-8600
e-mail	gakukika@tumh.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 観光学部

＜観光学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人平成医療学園

## (2) 大学名

宝塚医療大学

## (3) 調査対象大学等の位置

沖縄県宮古島市城辺字福里619番地1

兵庫県尼崎市道意町六丁目6番地3

(兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キシノ マサミ) 岸野 雅方 (平成13年4月)		
学長	(キシノ マサミ) 岸野 雅方 (平成27年11月)		
学部長	(ヒロタ ヨシヒコ) 廣田 佳彦 (令和6年4月)	(ケイトリン ストロネル) Caitlin Stronell (令和6年11月)	逝去に伴う交代(7)
学科長等		(アダチ ケンジ) 足立 賢二 (令和7年4月)	専任教員就任による(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合に、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
観光学部 観光学科 学士(観光学)	社会学・社会 福祉学関係	4 年	100 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	400 人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択してください。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	100人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	100人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	-	0.34倍	-	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	201 ( ) [ ]	( ) [ ]	-			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	159 ( ) [ ]	( ) [ ]	-			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	92 ( ) [ ]	( ) [ ]	-			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	18 ( ) [ ]	( ) [ ]	51 ( ) [ ]	( ) [ ]	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18	-	0.51	-	-			

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択してください。)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	51	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[18]	[ - ]	[51]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[18]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	69	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 18 ]	[ - ]	[ 69 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	18 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	69 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目群	社会学入門	1④	2								1	
	社会調査法 I	2②	2			1						
	社会調査法 II	2③	2								1	
	観光学概論	2①	2								1	
	観光社会学	2②	2								1	
	データサイエンス I	2①	1								1	
	データサイエンス II	2②	1								1	
	データサイエンス III	2③	1								1	
	AI基礎	2④	2								1	
	小計 (9科目)	—	11	4	0	1	0	0	0	0	4	
	基幹科目群	観光産業入門	1③	2			1					
		ツーリズム論	2①	2			1					
		観光企業研究 I	1④	2			1					1
		観光企業研究 II	2③~④	2								1
		観光地理学A	2・3②	2								1
		観光地理学B	2・3④	2								1
		観光と食	2・3③	2								1
		大使館観光局ゲスト講義	2①~②	2			1					
		リスクマネジメント	2・3③	2								1
		広報・マスコミ対応	2・3④	2			2					
観光メディア論		2・3②	2			1					1	
観光関連法規		2・3④	2				1					
人体の構造と機能		1①	2								1	
東洋医学入門		1②~④	2								1	
公衆衛生学		2②	2								1	
介護の基本		2③	2								1	
メディカルツーリズム論		2・3④	2								1	
観光医療 I		3①	2								1	
観光医療 II		3②	2								1	
ホスピタリティ		2・3②	2			1						
地域ボランティア	1通	1								1		
エコマニ・サルトゥリズム	1②~③	2								1		
ユニバーサルツーリズム	3②	2								1		
世界のトップアスリート	2③	2			1							
小計 (24科目)	—	13	34	0	2	3	1	0	0	13		
ヘルスツーリズム領域	ヘルスツーリズム概論	3①	2			1					1	
	ウェルネスツーリズム論	3③	2			1						
	東洋医学概論	3①	2								1	
	健康と疾病の理解	3①	2								1	
	伝統医療論	3②	2			1						
	養生身体文化論	3②	2			1						
	食と健康	3③	2								1	
	東洋医学刺激療法	3③	2								1	
	機能回復	3④	2								1	
	薬膳	3④	2								1	
	小計 (10科目)	—	0	20	0	1	1	0	0	0	6	
	地域経営(観光)領域	地域学入門	3①	2			1					
		地域まちづくり(講義)	3②	2			1					
		地域まちづくり(演習)	3②~③	2			1					
地域コミュニティ創造支援論		3③	2			1						
地域行政研究		3③	2			1						
地域経済論		3④	2								1	
小計 (6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	1		
ホテル・ブライダル領域	ホテル文化論	3①	2			1						
	ホテルビジネス論	3②	2			1						
	飲食産業論	3③	2			1						
	ブライダル	3③	2			1						
	リゾートビジネス	3④	2			1						
小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0		
エアライン・マネジメント領域	エアライン・マネジメント	3①	2			1						
	航空経営論	3③	2			1						
	交通産業論	3④	2			1						
	航空産業論	3①	2						1			
	国際交通論	3②	2						1			
	航空政策史	3③	2			1						
小計 (6科目)	—	0	12	0	1	0	1	0	0	0		
卒業研究	卒業研究	4通	4			5	2	2	0	0	0	
	小計 (1科目)	—	4	0	0	5	2	2	0	0	0	
合計 (113科目)	—	54	153	0	7	5	4	0	0	33		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目群	社会学入門	1④	2								1	
	社会調査法 I	2②	2			1						
	社会調査法 II	2③	2								1	
	観光学概論	2①	2								1	
	観光社会学	2②	2								1	
	データサイエンス I	2①	1								1	
	データサイエンス II	2②	1								1	
	データサイエンス III	2③	1								1	
	AI基礎	2④	2								1	
	小計 (9科目)	—	11	4	0	1	0	0	0	0	4	
基幹科目群	観光産業入門	1③	2			1						
	ツーリズム論	2①	2			1						
	観光企業研究 I	1④	2			1					1	
	観光企業研究 II	2③~④	2								1	
	観光地理学A	2・3②	2								1	
	観光地理学B	2・3④	2								1	
	観光と食	2・3③	2								1	
	大使館観光局ゲスト講義	2①~②	2			1						
	リスクマネジメント	2・3③	2								1	
	広報・マスコミ対応	2・3④	2			2						
	観光メディア論	2・3②	2			1					1	
	観光関連法規	2・3④	2				1					
	人体の構造と機能	1①	2								1	
	東洋医学入門	1②~④	2								1	
	公衆衛生学	2②	2								1	
	介護の基本	2③	2								1	
	メディカルツーリズム論	2・3④	2								1	
	観光医療 I	3①	2								1	
	観光医療 II	3②	2								1	
	ホスピタリティ	2・3②	2			1						
地域ボランティア	1通	1								1		
エコマニ・サルトゥリズム	1②~③	2								1		
ユニバーサルツーリズム	3②	2								1		
世界のトップアスリート	2③	2			1							
小計 (24科目)	—	13	34	0	2	2	0	0	0	14		
ヘルスツーリズム領域	ヘルスツーリズム概論	3①	2			1					1	
	ウェルネスツーリズム論	3③	2			1						
	東洋医学概論	3①	2								1	
	健康と疾病の理解	3①	2								1	
	伝統医療論	3②	2			1						
	養生身体文化論	3②	2			1						
	食と健康	3③	2								1	
	東洋医学刺激療法	3③	2								1	
	機能回復	3④	2								1	
	薬膳	3④	2								1	
	小計 (10科目)	—	0	20	0	1	1	0	0	0	6	
	地域経営(観光)領域	地域学入門	3①	2			1					
		地域まちづくり(講義)	3②	2			1					
		地域まちづくり(演習)	3②~③	2			1					
地域コミュニティ創造支援論		3③	2			1						
地域行政研究		3③	2			1						
地域経済論		3④	2								1	
小計 (6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	1		
ホテル・ブライダル領域	ホテル文化論	3①	2			1						
	ホテルビジネス論	3②	2			1						
	飲食産業論	3③	2			1						
	ブライダル	3③	2			1						
	リゾートビジネス	3④	2			1						
小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0		
エアライン・マネジメント領域	エアライン・マネジメント	3①	2			1						
	航空経営論	3③	2			1						
	交通産業論	3④	2			1						
	航空産業論	3①	2						1			
	国際交通論	3②	2						1			
	航空政策史	3③	2			1						
小計 (6科目)	—	0	12	0	1	0	1	0	0	0		
卒業研究	卒業研究	4通	4			5	2	2	0	0	0	
	小計 (1科目)	—	4	0	0	5	2	2	0	0	0	
合計 (117科目)	—	54	153	0	7	5	3	0	0	32		

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目40単位以上(必修科目26単位、選択必修科目14単位以上)、専門教育科目60単位以上(必修科目24単位、選択必修科目36単位以上)、上記2科目区分の中から自由に選択する単位20単位以上、卒業研究4単位(必修科目4単位)を修得し、合計124単位以上修得すること。  
なお、履修単位数の上限は年間48単位とする。

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目40単位以上(必修科目26単位、選択必修科目14単位以上)、専門教育科目60単位以上(必修科目24単位、選択必修科目36単位以上)、上記2科目区分の中から自由に選択する単位20単位以上、卒業研究4単位(必修科目4単位)を修得し、合計124単位以上修得すること。  
なお、履修単位数の上限は年間48単位とする。

学則第60条で規定する外国人学生は「英語総合1」「英語総合2」「英語総合3」「英語総合4」に代えて、「アカデミック・ジャパニーズ1」「アカデミック・ジャパニーズ2」「アカデミック・ジャパニーズ3」「アカデミック・ジャパニーズ4」を履修することができる。

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任											
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手										
基礎教育科目	導入教育科目群	初年次教育	1③	1			1														
	日本語表現	1④	1				1														
	情報リテラシー演習Ⅰ	1①	1																	1	
	情報リテラシー演習Ⅱ	1②	1																	1	
	小計(4科目)	-	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	外国語教育科目群	英語総合1	1①	2					1												
		英語総合2	1②	2					1												
		英語総合3	1③	2					1												
		英語総合4	1④	2					1												
		英語コミュニケーション1	1①	1			1			1											
		英語コミュニケーション2	1②	1			1			1											
		英語コミュニケーション3	1③	1			1			1											
		英語コミュニケーション4	1④	1			1			1											
		English for Tourism 1	2①	2					1												
		English for Tourism 2	2②	2					1												
		英語演習1	2①		1				1												
		英語演習2	2②		1				1												
		英語演習3	2③		1				1												
		英語演習4	2④		1				1												
		英語演習5	3①		1				1												
英語演習6		3②		1				1													
中国語1	2③		1																1		
中国語2	2④		1																1		
語学短期留学(未開講)	1休		1			1															
中期留学	2・3休		4			1															
小計(20科目)	-	16	13	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
キャリア教育科目群	基礎インターンシップⅠ	1通	1				1	1													
	基礎インターンシップⅡ	1通	1				1														
	中期インターンシップ	2・3休	4				3	2	1												
	観光におけるキャリア	2①		2				1													
	観光分野での起業	2④		2				1													
小計(5科目)	-	6	4	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
教養教育科目群	我々の時代の理解A(未開講)	1②		2																1	
	我々の時代の理解B(未開講)	1④		2																1	
	比較文化論	2②		2																1	
	ことばと文化・社会	2②		2			1													1	
	日本文学	2②		2																1	
	西洋文学	2③		2																1	
	日本・東洋思想	2④		2					1												
	西洋思想	2①		2					1												
	宗教学	2①		2			1													1	
	日本史	2②		2																1	
	日本文化史	2④		2																1	
	日本食文化	2①		2																1	
	文化人類学	2③		2			1													1	
	心理学	2①		2																1	
	経営学基礎A	2②		2				1													
	経営学基礎B	2④		2					1												
	国際政治学入門	2③		2			1														
	国際経済学入門	2④		2					1												
	宮古文化論	1③		2																1	
	宮古島の環境と風土A	1③		2																1	
	宮古島の環境と風土B	1④		2																1	
	空手・古武道(未開講)	1①-④		1				1													
	くいちやー	1②		1																1	
小計(23科目)	-	0	44	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9		
専門教育科目	基礎科目群	社会学入門	1④		2																1
		社会調査法Ⅰ	2②		2			1													1
		社会調査法Ⅱ	2③		2																1
		観光学概論	2①		2																1
		観光社会学	2②		2																1
		データサイエンスⅠ	2①		1																1
		データサイエンスⅡ	2②		1																1
		データサイエンスⅢ	2③		1																1
		AI基礎	2④		2																1
小計(9科目)	-	11	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基幹科目群	観光産業入門	1③	2			1						
	ツーリズム論	2①	2			1						
	観光企業研究Ⅰ	1④	2			1					1	
	観光企業研究Ⅱ	2③~④	2								1	
	観光地理学A	2・3②	2								1	
	観光地理学B	2・3④	2								1	
	観光と食	2・3③	2								1	
	大使館観光局ゲスト講義	3①~②	2		1							
	リスクマネジメント	2・3③	2								1	
	広報・マスコミ対応	2・3④	2			2						
	観光メディア論	2・3②	2			1						
	観光関連法規	2・3④	2				1					
	人体の構造と機能	1①	2								1	
	東洋医学入門	1②・③・④	2								1	
	公衆衛生学	2②	2								1	
	介護の基本	2③	2								1	
	メディカルツーリズム論	2・3④	2								1	
	観光医療Ⅰ	3①	2								1	
	観光医療Ⅱ	3②	2								1	
	ホスピタリティ	2・3②	2		1							
	地域ボランティア	1通	1								1	
	エコツーリズム/サステイナブルツーリズム	1②~③	2								1	
	ユニバーサルツーリズム	3②	2								1	
	世界のトップアスリート	2③	2			1						
小計(24科目)	—	13	34	0	2	3	1	0	0	13		
専門教育科目	ヘルスツーリズム概論	3①	2		1						1	
	ウェルネスツーリズム論	3③	2			1						
	東洋医学概論	3①	2								1	
	健康と疾病の理解	3①	2								1	
	伝統医療論	3②	2		1							
	養生身体文化論	3②	2		1							
	食と健康	3③	2								1	
	東洋医学刺激療法	3③	2								1	
	機能回復	3④	2								1	
	薬膳	3④	2								1	
	小計(10科目)	—	0	20	0	1	1	0	0	0	6	
	発展科目群	地域学入門	3①	2		1						
		地域まちづくり(講義)	3②	2		1						
		地域まちづくり(演習)	3②~④	2		1						
地域コミュニティ創造支援論		3③	2		1							
地域行政研究		3③	2		1							
地域経済論		3④	2								1	
小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	1		
ホテル・ブライダル領域	ホテル文化論	3①	2		1							
	ホテルビジネス論	3②	2		1							
	飲食産業論	3③	2		1							
	ブライダル	3③	2		1							
	リゾートビジネス	3④	2		1							
小計(5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0		
エアライン領域	エアライン・マネジメント	3①	2		1							
	航空経営論	3③	2		1							
	交通産業論	3④	2		1							
	航空産業論	3①	2				1					
	国際交通論	3②	2				1					
航空政策史	3③	2		1								
小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	1	0	0	0		
卒業研究	卒業研究	4通	4			5	2	2	0	0	0	
	小計(1科目)	—	4	0	0	5	2	2	0	0	0	
合計(113科目)		—	54	153	0	8	5	3	0	0	33	

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目40単位以上(必修科目26単位、選択必修科目14単位以上)、専門教育科目60単位以上(必修科目24単位、選択必修科目36単位以上)、上記2科目区分の中から自由に選択する単位20単位以上、卒業研究4単位(必修科目4単位)を修得し、合計124単位以上修得すること。  
なお、履修単位数の上限は年間48単位とする。

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→[令和7年度](新)→[令和6年度](新)→[令和5年度]→[令和4年度]→[令和7年度](旧)→[令和6年度](旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・教員の就任辞退に伴い、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」について、担当教員を准教授1名、講師1名から、准教授1名、講師1名に変更。
- ・担当教員変更により、「初年次教育」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に、配当年次を「1①」から「1③」に変更
- ・担当教員変更により、「日本語表現」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に、配当年次を「1②」から「1④」に変更変更

**【令和7年度】**

- ・教育内容の充実を図るため、「アカデミック・ジャパニーズ1」を科目追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「アカデミック・ジャパニーズ2」を科目追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「アカデミック・ジャパニーズ3」を科目追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「アカデミック・ジャパニーズ4」を科目追加。

- (注)・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	82 科目	0 科目	113 科目	31 科目 [ 0 ]	86 科目 [ 4 ]	0 科目 [ 0 ]	117 科目 [ 4 ]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
 ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	空手・古武道	1	1①・②・ ③・④	一般	選択	担当教員の就任辞退による。後任の教員の就任を待って開講予定
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。  
 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。  
 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、担当予定教員のやむを得ない事情による就任辞退によるものであり、代替教員の就任を待って開講する予定である。学生への周知については、学期開始時のガイダンスで周知した。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{113} = \boxed{0.88} \%$$

数式が入力されています。

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地を共有していた和歌山看護専門学校の廃止に伴い、当該専門学校が使用していた校舎面積が大学専用となったことに伴う変更 (6)		
	校舎敷地	43,503.93㎡ 46,774.18㎡	3,729.24㎡ 461. 21㎡	0㎡	47,233.17㎡ 47,235.39㎡			
	運動場用地	22,012. 12㎡	0㎡	0㎡	22,012. 12㎡			
	小 計	65,516.06㎡ 68,786.30㎡	3,729.24㎡ 461. 21㎡	0㎡	69,245.29㎡ 69,247.51㎡			
	そ の 他	13,902.36㎡ 14,034.33㎡	333.95㎡ 201.98㎡	0㎡	14,236. 31㎡			
	合 計	79,418.41㎡ 85,703.92㎡	4,063.19㎡ 663.19㎡	0㎡	86,367. 11㎡			
(2) 校 舎	専 用	36,505. 98㎡	0㎡	0㎡	36,505. 98㎡			
	(29,246. 92㎡)	(2,590. 46㎡)	( 740㎡)	( 3,257. 38㎡)				
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	20室	1室	0室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	観光学部観光学科			14 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	観光学部	26,449 [200] (25,529 [120])	88 [58] ( 68 [58])	58 [58] ( 58 [58])	20 (10)	1,542 (695)	0 ( 0 )	
	計	26,449 [200] (25,529 [120])	88 [58] ( 68 [58])	58 [58] ( 58 [58])	20 (10)	1,542 (695)	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	536. 85㎡		33		30,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,904. 09㎡		—					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	16,920千円	5,880千円	300千円
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	41,846千円	30,110千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,400千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		雑費等収入等						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		宝塚医療大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
観光学部	4	100	—	200	—	0.34	—	—	令和6	—	
観光学科	4	100	—	200	学士(観光学)	0.34	—	—	令和6	沖縄県宮古島市城辺字福里619番地1 兵庫県尼崎市道意町六丁目6番地3	
保健医療学部	4	224	—	798	—	0.66	—	—	平成23	—	
口腔保健学科	4	30	—	158	学士(口腔保健学)	0.20	—	令和7	令和5	兵庫県宝塚市花屋敷方丘1 大阪府大阪市北区中津6丁目9-38	令和7年度から入学定員変更(64→30)
理学療法学科	4	70	—	280	学士(保健医療学)	0.73	—	—	平成23	兵庫県宝塚市花屋敷方丘1	
柔道整復学科	4	60	—	240	学士(保健医療学)	0.81	—	—	平成23	同上	
鍼灸学科	4	30	—	120	学士(保健医療学)	0.79	—	—	平成23	同上	
和歌山保健医療学部	4	150	—	600	—	0.79	—	—	令和2	—	
リハビリテーション学科	4	100	—	400	学士(保健医療学)	0.71	—	—	令和2	和歌山県和歌山市中之島2252	
理学療法専攻	4	60	—	240	学士(保健医療学)	0.82	—	—	令和2	同上	
作業療法専攻	4	40	—	160	学士(保健医療学)	0.55	—	—	令和2	同上	
看護学科	4	50	—	200	学士(看護学)	0.95	—	—	令和4	和歌山県和歌山市中之島2252 和歌山県和歌山市西庄1107-26	
大学全体	4	474	—	1598	—	0.77	—	—	—	—	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<観光学部 観光学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	廣田 佳彦 (66) <令和6年4月> 博士(教育学)
		宗教学 ことばと文化・社会
専	教授	足立 賢二 (51) <令和7年4月> 博士(文学)
		社会調査法Ⅰ 文化人類学 中期インターンシップ ヘルスツーリズム概論※ 伝統医療論 養生身体文化論 卒業研究
専	教授	澤山 明宏 (71) <令和6年4月> 修士(社会学)
		基礎インターンシップⅡ ホスピタリティ 中期インターンシップ ホテル文化論 ホテルビジネス論 飲食産業論 プライダル リゾートビジネス 卒業研究
専	教授	清水 隆吉 (71) <令和6年4月> 経済学士
		語学短期留学 国際政治学入門 中期インターンシップ 中期留学 大使館観光局ゲスト講義 卒業研究
専	教授	Caitlin Stronell (57) <令和6年4月> Ph.D(Political Studies) (インド)
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション3 英語コミュニケーション4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	廣田 佳彦 (67) <令和6年4月> 博士(教育学)
		宗教学 ことばと文化・社会
専	教授	足立 賢二 (52) <令和7年4月> 博士(文学)
		社会調査法Ⅰ 文化人類学 中期インターンシップ ヘルスツーリズム概論※ 伝統医療論 養生身体文化論 卒業研究
専	教授	澤山 明宏 (72) <令和6年4月> 修士(社会学)
		基礎インターンシップⅡ ホスピタリティ 中期インターンシップ ホテル文化論 ホテルビジネス論 飲食産業論 プライダル リゾートビジネス 卒業研究
専	教授	清水 隆吉 (72) <令和6年4月> 経済学士
		語学短期留学 国際政治学入門 中期インターンシップ 中期留学 大使館観光局ゲスト講義 卒業研究
専	教授	Caitlin Stronell (58) <令和6年4月> Ph.D(Political Studies) (インド)
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション3 英語コミュニケーション4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	足立 賢二 (53) <令和7年4月> 博士(文学)
		社会調査法Ⅰ 文化人類学 中期インターンシップ ヘルスツーリズム概論※ 伝統医療論 養生身体文化論 卒業研究
専	教授	澤山 明宏 (73) <令和6年4月> 修士(社会学)
		基礎インターンシップⅡ ホスピタリティ 中期インターンシップ ホテル文化論 ホテルビジネス論 飲食産業論 プライダル リゾートビジネス 卒業研究
専	教授	清水 隆吉 (73) <令和6年4月> 経済学士
		語学短期留学 国際政治学入門 中期インターンシップ 中期留学 大使館観光局ゲスト講義 卒業研究
専	教授	Caitlin Stronell (59) <令和6年4月> Ph.D(Political Studies) (インド)
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション3 英語コミュニケーション4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丹治 隆 (76) <令和8年4月> 修士(MBA) エアライン・マネジメント 航空政策史 航空経営論 交通産業論 卒業研究
専	教授	信時 正人 (69) <令和8年4月> 工学士 地域学入門 地域まちづくり(講義) 地域行政研究 地域コミュニティ創造支援論 地域まちづくり(演習) 卒業研究
専	准教授	上地 昭人 (62) <令和6年4月> 工学士 空手・古武道
専	准教授	神田 達哉 (47) <令和6年4月> 広報・情報学修士(専門職) 観光産業入門 観光におけるキャリア 経営学基礎A 観光分野での起業 広報・マスコミ対応※ 中期インターンシップ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丹治 隆 (77) <令和8年4月> 修士(MBA) エアライン・マネジメント 航空政策史 航空経営論 交通産業論 卒業研究
専	教授	信時 正人 (70) <令和8年4月> 工学士 地域学入門 地域まちづくり(講義) 地域行政研究 地域コミュニティ創造支援論 地域まちづくり(演習) 卒業研究
専	准教授	神田 達哉 (48) <令和6年4月> 広報・情報学修士(専門職) 観光産業入門 観光におけるキャリア 経営学基礎A 観光分野での起業 広報・マスコミ対応※ 中期インターンシップ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丹治 隆 (78) <令和8年4月> 修士(MBA) エアライン・マネジメント 航空政策史 航空経営論 交通産業論 卒業研究
専	教授	信時 正人 (71) <令和8年4月> 工学士 地域学入門 地域まちづくり(講義) 地域行政研究 地域コミュニティ創造支援論 地域まちづくり(演習) 卒業研究
専	教授	岡崎 秀磨 (46) <令和6年9月> 博士(文学) 初年次教育 日本語表現 宗教学 ことばと文化・社会
専	准教授	神田 達哉 (49) <令和6年4月> 広報・情報学修士(専門職) 観光産業入門 観光におけるキャリア 経営学基礎A 観光分野での起業 広報・マスコミ対応※ 中期インターンシップ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹内 利光 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		英語総合1 英語総合2 英語総合3 英語総合4 English for Tourism 1 English for Tourism 2 英語演習1 英語演習2 英語演習3 英語演習4 英語演習5 英語演習6
専	准教授	林 壮一 (55) ＜令和6年4月＞ 学士(経済)
		初年次教育 日本語表現 世界のトップアスリート 広報・マスコミ対応
専	准教授	山口 一弥 (57) ＜令和6年4月＞ 社会学士
		基礎インターンシップ I 中期インターンシップ ツーリズム論 観光企業研究 I 観光メディア論 ウェルネスツーリズム論 卒業研究
専	講師	小川 竜明 (47) ＜令和6年4月＞ 修士(商学)
		基礎インターンシップ I 国際経済学入門 観光関連法規 経営学基礎B 中期インターンシップ 航空産業論 国際交通論 卒業研究
専	講師	爪田 一寿 (50) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		西洋思想 日本・東洋思想 卒業研究
専	講師	Douglas Middleton (42) ＜令和6年4月＞ Bachelor of Science in Mathematics(米国)
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹内 利光 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		英語総合1 英語総合2 英語総合3 英語総合4 English for Tourism 1 English for Tourism 2 英語演習1 英語演習2 英語演習3 英語演習4 英語演習5 英語演習6
専	准教授	
専	准教授	山口 一弥 (57) ＜令和6年4月＞ 社会学士
		基礎インターンシップ I 中期インターンシップ ツーリズム論 観光企業研究 I 観光メディア論 ウェルネスツーリズム論 卒業研究
専	講師	小川 竜明 (47) ＜令和6年4月＞ 修士(商学)
		基礎インターンシップ I 国際経済学入門 観光関連法規 経営学基礎B 中期インターンシップ 航空産業論 国際交通論 卒業研究
専	講師	爪田 一寿 (50) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		西洋思想 日本・東洋思想 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹内 利光 (54) ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		英語総合1 英語総合2 英語総合3 英語総合4 English for Tourism 1 English for Tourism 2 英語演習1 英語演習2 英語演習3 英語演習4 英語演習5 英語演習6
専	准教授	山口 一弥 (58) ＜令和6年4月＞ 社会学士
		基礎インターンシップ I 中期インターンシップ ツーリズム論 観光企業研究 I 観光メディア論 ウェルネスツーリズム論 卒業研究
専	講師	小川 竜明 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(商学)
		基礎インターンシップ I 国際経済学入門 観光関連法規 経営学基礎B 中期インターンシップ 航空産業論 国際交通論 卒業研究
専	講師	爪田 一寿 (51) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		西洋思想 日本・東洋思想 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
専	講師	宮本 陽子 (47) ＜令和6年4月＞ Master of Education (オーストラリア) 英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション3 英語コミュニケーション4
兼担	講師	内野 勝郎 (65) ＜令和8年4月＞ 博士(歯学) 東洋医学概論 東洋医学刺激療法
兼担	講師	小幡 太志 (57) ＜令和8年4月＞ 修士(教育学) 健康と疾病の理解
兼担	講師	小原 教孝 (66) ＜令和8年4月＞ 専修学校卒 機能回復
兼担	講師	岸野 万伸 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(歯学) 公衆衛生学
兼担	講師	中村 辰三 (83) ＜令和6年4月＞ 学術博士 人体の構造と機能 東洋医学入門
兼担	講師	野坂 修一 (77) ＜令和8年4月＞ 医学博士 観光医療Ⅰ 観光医療Ⅱ
兼担	講師	大久保 弘枝 (68) ＜令和7年4月＞ 教育学士 介護の基本
兼担	講師	菊池 勇哉 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(人間科学) 社会学入門 社会調査法Ⅱ ヘルスツーリズム概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
専	講師	宮本 陽子 (47) ＜令和6年4月＞ Master of Education (オーストラリア) 英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション3 英語コミュニケーション4
兼担	講師	内野 勝郎 (65) ＜令和8年4月＞ 博士(歯学) 東洋医学概論 東洋医学刺激療法
兼担	講師	小幡 太志 (57) ＜令和8年4月＞ 修士(教育学) 健康と疾病の理解
兼担	講師	小原 教孝 (66) ＜令和8年4月＞ 専修学校卒 機能回復
兼担	講師	岸野 万伸 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(歯学) 公衆衛生学
兼担	講師	中村 辰三 (83) ＜令和6年4月＞ 学術博士 人体の構造と機能 東洋医学入門
兼担	講師	野坂 修一 (77) ＜令和8年4月＞ 医学博士 観光医療Ⅰ 観光医療Ⅱ
兼担	講師	大久保 弘枝 (68) ＜令和7年4月＞ 教育学士 介護の基本
兼担	講師	菊池 勇哉 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(人間科学) 社会学入門 社会調査法Ⅱ ヘルスツーリズム概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
専	講師	宮本 陽子 (48) ＜令和6年4月＞ Master of Education (オーストラリア) 英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション3 英語コミュニケーション4
兼担	講師	内野 勝郎 (66) ＜令和8年4月＞ 博士(歯学) 東洋医学概論 東洋医学刺激療法
兼担	講師	小幡 太志 (58) ＜令和8年4月＞ 修士(教育学) 健康と疾病の理解
兼担	講師	小原 教孝 (67) ＜令和8年4月＞ 専修学校卒 機能回復
兼担	講師	岸野 万伸 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(歯学) 公衆衛生学
兼担	講師	中村 辰三 (84) ＜令和6年4月＞ 学術博士 人体の構造と機能 東洋医学入門
兼担	講師	野坂 修一 (78) ＜令和8年4月＞ 医学博士 観光医療Ⅰ 観光医療Ⅱ
兼担	講師	大久保 弘枝 (69) ＜令和7年4月＞ 教育学士 介護の基本
兼担	講師	菊池 勇哉 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(人間科学) 社会学入門 社会調査法Ⅱ ヘルスツーリズム概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊志嶺 敏子 (76) ＜令和6年4月＞ 家政学士 宮古島の環境と風土A
兼任	講師	井上 美香 (50) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒 地域ボランティア
兼任	講師	岩瀬 吉廣 (75) ＜令和7年4月＞ 商学士 観光企業研究Ⅱ
兼任	講師	金城 良幸 (60) ＜令和7年4月＞ 経済学士 日本食文化 観光と食
兼任	講師	菅 孝行 (84) ＜令和6年4月＞ 文学士 我々の時代の理解A 我々の時代の理解B
兼任	講師	北見 貴志 (63) ＜令和8年4月＞ 高等学校卒 ユニバーサルツーリズム
兼任	講師	熊野 利明 (65) ＜令和8年4月＞ 鍼灸修士 薬膳
兼任	講師	近藤 和也 (53) ＜令和7年4月＞ 修士(臨床心理学) 心理学
兼任	講師	重永 瞬 (28) ＜令和7年4月＞ 修士(文学) 取得見込 観光地理学A 観光地理学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊志嶺 敏子 (76) ＜令和6年4月＞ 家政学士 宮古島の環境と風土A
兼任	講師	井上 美香 (50) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒 地域ボランティア
兼任	講師	岩瀬 吉廣 (75) ＜令和7年4月＞ 商学士 観光企業研究Ⅱ
兼任	講師	金城 良幸 (60) ＜令和7年4月＞ 経済学士 日本食文化 観光と食
兼任	講師	菅 孝行 (84) ＜令和6年4月＞ 文学士 我々の時代の理解A 我々の時代の理解B
兼任	講師	北見 貴志 (63) ＜令和8年4月＞ 高等学校卒 ユニバーサルツーリズム
兼任	講師	熊野 利明 (65) ＜令和8年4月＞ 鍼灸修士 薬膳
兼任	講師	近藤 和也 (53) ＜令和7年4月＞ 修士(臨床心理学) 心理学
兼任	講師	重永 瞬 (28) ＜令和7年4月＞ 修士(文学) 取得見込 観光地理学A 観光地理学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	武田 亜紗美 (35) ＜令和7年4月＞ 修士(歴史民俗資料学) アカデミック・ジャパニーズ1 アカデミック・ジャパニーズ2 アカデミック・ジャパニーズ3 アカデミック・ジャパニーズ4
兼任	講師	伊志嶺 敏子 (77) ＜令和6年4月＞ 家政学士 宮古島の環境と風土A
兼任	講師	井上 美香 (51) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒 地域ボランティア
兼任	講師	岩瀬 吉廣 (76) ＜令和7年4月＞ 商学士 観光企業研究Ⅱ
兼任	講師	金城 良幸 (61) ＜令和7年4月＞ 経済学士 日本食文化 観光と食
兼任	講師	菅 孝行 (85) ＜令和6年4月＞ 文学士 我々の時代の理解A 我々の時代の理解B
兼任	講師	北見 貴志 (64) ＜令和8年4月＞ 高等学校卒 ユニバーサルツーリズム
兼任	講師	熊野 利明 (656) ＜令和8年4月＞ 鍼灸修士 薬膳
兼任	講師	近藤 和也 (54) ＜令和7年4月＞ 修士(臨床心理学) 心理学
兼任	講師	重永 瞬 (29) ＜令和7年4月＞ 修士(文学) 取得見込 観光地理学A 観光地理学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	隅田 章広 (64) ＜令和7年4月＞ 修士 (MBA)
		リスクマネジメント 地域経済論
兼任	講師	戴 智軻 (53) ＜令和7年4月＞ 博士 (社会情報学)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	戸崎 肇 (61) ＜令和7年4月＞ 博士 (経済学)
		観光学概論 観光社会学 メディカルツーリズム論
兼任	講師	中村 康明 (72) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒
		くいちやー 観光企業研究 I
兼任	講師	春川 京子 (56) ＜令和6年4月＞ 学士 (法学)
		エコツーリズム/サステナブルツーリズム
兼任	講師	松村 勉 (71) ＜令和7年4月＞ 学士 (社会学)
		日本史 日本文化史
兼任	講師	三木谷 研一 (63) ＜令和8年4月＞ 農学博士
		食と健康
兼任	講師	宮國 敏弘 (66) ＜令和6年4月＞ 学士 (文学)
		宮古文化論
兼任	講師	三輪 大輔 (52) ＜令和6年4月＞ 博士 (経済学)
		宮古島の環境と風土B
兼任	講師	山脇 良文 (68) ＜令和6年4月＞ 理学士
		情報リテラシー演習 I 情報リテラシー演習 II AI基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	隅田 章広 (64) ＜令和7年4月＞ 修士 (MBA)
		リスクマネジメント 地域経済論
兼任	講師	戴 智軻 (53) ＜令和7年4月＞ 博士 (社会情報学)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	戸崎 肇 (61) ＜令和7年4月＞ 博士 (経済学)
		観光学概論 観光社会学 メディカルツーリズム論
兼任	講師	中村 康明 (72) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒
		くいちやー 観光企業研究 I
兼任	講師	春川 京子 (56) ＜令和6年4月＞ 学士 (法学)
		エコツーリズム/サステナブルツーリズム
兼任	講師	松村 勉 (71) ＜令和7年4月＞ 学士 (社会学)
		日本史 日本文化史
兼任	講師	三木谷 研一 (63) ＜令和8年4月＞ 農学博士
		食と健康
兼任	講師	宮國 敏弘 (66) ＜令和6年4月＞ 学士 (文学)
		宮古文化論
兼任	講師	三輪 大輔 (52) ＜令和6年4月＞ 博士 (経済学)
		宮古島の環境と風土B
兼任	講師	山脇 良文 (68) ＜令和6年4月＞ 理学士
		情報リテラシー演習 I 情報リテラシー演習 II AI基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	隅田 章広 (65) ＜令和7年4月＞ 修士 (MBA)
		リスクマネジメント 地域経済論
兼任	講師	戴 智軻 (54) ＜令和7年4月＞ 博士 (社会情報学)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	戸崎 肇 (62) ＜令和7年4月＞ 博士 (経済学)
		観光学概論 観光社会学 メディカルツーリズム論
兼任	講師	中村 康明 (73) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒
		くいちやー 観光企業研究 I
兼任	講師	春川 京子 (57) ＜令和6年4月＞ 学士 (法学)
		エコツーリズム/サステナブルツーリズム
兼任	講師	松村 勉 (72) ＜令和7年4月＞ 学士 (社会学)
		日本史 日本文化史
兼任	講師	三木谷 研一 (64) ＜令和8年4月＞ 農学博士
		食と健康
兼任	講師	宮國 敏弘 (67) ＜令和6年4月＞ 学士 (文学)
		宮古文化論
兼任	講師	三輪 大輔 (53) ＜令和6年4月＞ 博士 (経済学)
		宮古島の環境と風土B
兼任	講師	山脇 良文 (69) ＜令和6年4月＞ 理学士
		情報リテラシー演習 I 情報リテラシー演習 II AI基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 央 (57) ＜令和7年4月＞ 工学修士	兼任	講師	渡邊 央 (57) ＜令和7年4月＞ 工学修士	兼任	講師	渡邊 央 (58) ＜令和7年4月＞ 工学修士
		データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ			データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ			データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ
兼任	講師	山口 諤司 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(中国学)	兼任	講師	山口 諤司 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(中国学)	兼任	講師	山口 諤司 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(中国学)
		比較文化論 日本文学 西洋文学			比較文化論 日本文学 西洋文学			比較文化論 日本文学 西洋文学
						兼任	講師	川口 志保 (54) ＜令和7年4月＞ 学士(文学)
								アカデミック・ジャパニーズ1 アカデミック・ジャパニーズ2 アカデミック・ジャパニーズ3 アカデミック・ジャパニーズ4
						兼任	講師	洞井 知彦 (38) ＜令和7年9月＞ 修士(情報工学)
								世界のトップアスリート

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・上地 昭人准教授 一身上の都合により就任辞退（体調不良）
- ・林 壮一准教授 一身上の都合により就任辞退
- ・Douglas Middleton講師 一身上の都合により就任辞退（家庭の事情により帰国）

**【令和7年度】**

- ・令和6年5月 廣田 佳彦教授逝去。
- ・令和6年9月 岡崎 秀彦教授就任。令和6年6月教員審査済み。
- ・令和7年4月 武田 亜紗美(兼任)講師就任。
- ・令和7年4月 川口 志保(兼任)講師就任。
- ・令和7年9月 洞井 知彦(兼任)講師就任。

- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	7
14	
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高专】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	5	4	0	16	0	5	3	3	0	11	0
(4)	(5)	(3)	(0)	(12)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	3	3	0	13	0	7	5	4	0	16	0
[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。

・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	2	4
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{16} = \boxed{81.25} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{11} = \boxed{18.18} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	准教授	上地 昭人	R6.3	選択	空手・古武道	③	R6.3体調不良のため就任辞退（6）							
2	准教授	林 壮一	R6.3	必修	初年次教育	①	R6.3本人都合のため就任辞退（6）							
				必修	日本語表現	①								
				選択	世界のトップアスリート	②								
				選択	広報・マスコミ対応	③								
3	講師	Douglas Middleton	R5.12	必修	英語コミュニケーション1	①	R5.12本人都合のため就任辞退（6）							
				必修	英語コミュニケーション2	①								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修		4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		3	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	2	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		7	科目	計	4	科目	計	1	科目	計	2	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	廣田 佳彦	R6.5	選択	宗教学	①	R6.5逝去のため（7）							
				選択	ことばと文化・社会	①								
合計（F）						後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
4	人	必修		4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		5	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	2	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		9	科目	計	6	科目	計	1	科目	計	2	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{16} = 25\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員の交代に係っては科目担当状況や教員の校務・研究状況に配慮しつつ、本学部の適切な科目運営の実施のために、専任教員および、兼任・兼任教員による適切な補充、配置を行う。 学生には、ガイダンス時、シラバスや時間割表を通じて周知を行っている。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入し

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和5年)	二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等に津も配慮すること。	【認可】 遵守事項 ・令和6年度の学生の受入に当たって、設置計画に基づき宮古島キャンパスの整備を行った。(6)	履行中 ・令和6年度中に尼崎キャンパスを設置計画に基づき整備する。令和6年度の教育研究の実施状況を踏まえ、教育研究に支障がないよう整備を行うとともに学生の意見を聴取しながら課外活動の支援を実施する。(6) ・上記実施計画に基づき、キャンパスの整備を引き続き実施する。(7)
認可時 (令和5年)	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学学生選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学学生数の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 ・令和6年度の入学生については、収容定員を大きく下回る結果となった。入学学生選抜に関しては、アドミッション・ポリシーに基づき、適切な実施を行った。(6) ・令和7年度についても昨年度と同様にアドミッション・ポリシーに基づいた入学学生選抜を実施したが、入学定員を充足するには至らなかった。(7)	履行中 ・令和5年度に実施した広報活動、入学学生選抜に関して、所掌の委員会等において原因の分析及び対策について検討し、実施する。また、収容定員の適切な規模に関して、検討する。(6) ・上記の実施計画を履行し、入学定員充足率の改善を図ったが、いまだ未充足の状況であることから、学生募集体制を整備し入学学生の確保に努める。(7)
認可時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 ・設置計画時の教員組織の水準を維持するため、定年規程の趣旨を踏まえ、適切な運用に努めている。(6)(7)	履行中 ・年齢構成や専門領域の職位構成のバランスに配慮して、教育研究の質が維持・継続できるように学内昇任、新規採用を計画的に実施する(6)(7)
設置計画履行状況調査結果 (令和6年度)	留学生への適切な管理・支援を含め、教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (改善) ・令和7年度より、留学生の日本語運用能力の向上と専門教育への円滑な接続を図るため、新たに「アカデミック・ジャパニーズ」科目を開設しました。当該科目では、専門用語を含む日本語表現の習得や、論述・発表等のアカデミックスキルを重視した指導を行っており、全ての留学生が履修している。(7) ・留学生への適切な管理・支援のため、新たに専門人材を採用した。(7)	履行済 ・収容定員未充足の改善に向けては、教育環境や支援体制の整備状況を学生募集活動にも活用し、大学としての受け入れ体制を内外に発信することで、入学学生数の安定的確保を目指す。(7)
設置計画履行状況調査結果 (令和6年度)	専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。	【AC】 指摘事項 (改善) ・令和6年度において、設置計画に基づき専任教員の採用を進めた。1名については就任が完了し、残りの3名については、公募を実施するなど採用に向けた活動を進めているが、適任者の選定に至らず、引き続き教員確保に努める。また、既存教員の専門分野の再調整を図ることで、教育課程の質を維持している。採用の遅れに伴う教育への影響については、兼任教員の配置により補完し、授業実施に支障は生じていない。(7)	履行中 ・今後は、未採用の3名について、改めて公募を行い、適任者の採用を確実に実施いたします。特に、大学等での教育経験を有し、当該分野において実績のある人材を対象とした積極的なスカウト活動も並行して実施する。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)(7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <観光学部 観光学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>令和8年度入学生から、2年次以降のキャンパスを「尼崎キャンパス」と、石川県加賀市に開設する「加賀キャンパス（仮称）」から選択することとする。</p> <p>【変更内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和9年4月（令和8年度入学の2年次より）</li> <li>・2年次以降に修学するキャンパスを選択する。</li> <li>・加賀キャンパス（仮称）の位置 「かが交流プラザさくら」石川県加賀市大聖寺八間道65</li> <li>・収容定員の変更、主要授業科目の変更は行わない。</li> </ul> <p>計画変更について、令和7年度内に校地・校舎等の変更にかかる手続き、学則変更届などを行う。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 全学組織である「FSD推進委員会」に委員を選出している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>①令和6年7月31日 開催 参加者数18名、欠席2名</p> <p>②令和7年3月27日 開催 参加者数13名、欠席7名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>第1回</p> <p>1) FSD研修の実施について</p> <p>2) 授業評価アンケートの実施について</p> <p>第2回</p> <p>1) 令和7年度 FSD研修の実施について</p> <p>2) 令和6年度授業評価アンケートの実施結果について</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・ 教職員研修会

### b 実施方法

- ・ 教員・職員の資質向上のための研修①  
令和6年9月20日～27日 実施方法 オンデマンド配信  
講師：井池直美（臨床心理士・公認心理師） 「合理的配慮の義務化に伴う大学における支援の検討」
- ・ 教員・職員の資質向上のための研修②  
令和6年12月26日 実施方法 対面及びオンライン受講  
講師：大西満（日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科教授）  
「すべての学生に寄り添う教育：学生支援の新しい視点」

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 研修① 103名（大学全体）
- ・ 研修② 150名（大学全体）

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修①は、令和6年度から新たに観光学部が開設され、新規に就任した教員も多いことから、昨年度実施した本学のカウンセリングルームでカウンセリングを担当している井池先生の講演をオンデマンド教材化し、配信した。その上で、Google Classroomにより受講確認を行った。新規採用者だけでなく、昨年度に受講した者も多く視聴し、合理的配慮に対する関心の高さがうかがえた。合理的配慮の歴史、課題、大学における先事例、合理的配慮の手順や留意点といった概要から具体的内容に及ぶ講演であり、受講者からは合理的配慮に関する理解が深まったとの感想が寄せられた。また、受講者からの感想は、井池講師にフィードバックし、本学カウンセリングルームの活動に活用した。

研修②は外部講師を招聘しての講演会である。

和歌山保健医療学部の中之島キャンパスにおいて開催し、全てのキャンパスにおいて、オンラインによる相互接続で研修を行った。

学生個々の特性を見極め、合理的配慮の必要な学生をあからさまに取り出して教育しない手法について、講師自身のこれまでの活動を含めて、どのように学生に寄り添うのかについて講演がなされた。また「ドライバーチェックシート」を用いた演習が行われ、各人の行動特徴の理解するための一助として活用された。

業務等により当日出席できなかった教職員のために、後日オンデマンド配信を実施した。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

実施の有無：有

実施時期：令和6年7月31日および11月13日実施

### b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、各授業科目のアンケート結果及び自由記述をまとめた資料を配付した。また、専任教員には、授業評価アンケートの結果を踏まえた工夫した点、改善点などを記載したリフレクションペーパーの提出を求めている。

大学ホームページにおいて、アンケート結果をまとめた資料を公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設年度の令和6年度は入学定員を大きく下回る結果となったが、1年次生が学ぶ宮古島キャンパスにおいて、設置計画に基づき教育を実施した。本学科の特徴としている語学、IT、医療の基礎知識に関する講義を実施した。また、トライアスロン大会や海岸の清掃などのボランティア活動を実施するなど、地域との連携や課外活動も積極的に実施した。

教育研究環境については、令和6年度中に2年次から使用を開始する尼崎キャンパスの改修工事を行うと共に、教育研究用の機器備品、図書等について設置計画に基づき整備を行った。2年次からは、観光学に関する専門的な授業科目が増加することから、設置の目的である観光に係る専門職に求められる知識・能力に関する教育の充実を図る。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和7年7月1日 公表

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和7年8月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年に評価機関（日本高等教育評価機構）による評価を受審。適合の判定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。